

2日目 4月22日

会 場: 県立浜山球場

第3試合	～2回戦～ (延長10回タイブレークサヨナラ)																	
T E A M	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	R	H	E
松江北	0	0	0	3	0	0	1	0	0	0						4	8	3
出雲農林	0	1	1	0	0	0	1	1	0	1x						5	10	4
(投手-捕手)																		
・ (松)	山本→宮崎 - 久谷																	
・ (出)	神田→飯塚 - 三島																	
(長 打)	(二塁打)						(三塁打)						(本塁打)					
・ (松)	金津、中島						福間											
・ (出)																		
(審判) [球審]	城市			〔一塁〕 瀧隆				〔二塁〕 三宅				〔三塁〕 川島						
(チーム成績)																		
チーム	打	安	点	二	三	本	振	四	犠	盗	残	併	守備	失	暴	ボ	逸	打妨
(松)	45	8	2	2	1	0	5	6	2	3		0		3	0	0	0	0
(出)	48	10	4	0	0	0	8	7	1	5		0		4	0	0	0	0

「出雲農林、タイブレーク制す！」

延長戦に纏れるシーソーゲームとなった。出雲農林は2回裏、1死満塁から8番野津の内野ゴロの間に1点を先制する。3回裏にも、2死1・3塁から5番勝部が投手への適時内野安打の間に1点を追加する。

対する松江北は、4回表に連打と四球で無死満塁とし、6番山本の適時打を相手中堅手が処理を誤る間に2塁走者も生還し同点に追いつくと、更に1死1塁から7番金津のレフト線への適時2塁打で1点を追加し逆転に成功する。7回表にも2死2塁から4番福間のセンターオーバーの適時3塁打で1点を追加した。

しかし、出雲農林は7回裏に相手失策が重なり1点を返すと、8回裏にも1死満塁から3番昌子のセンターへの適時打で同点に追いつく。なおも、1死満塁の好機だったが後続が続かず同点のまま、延長戦のタイブレークに突入した。

10回表、松江北は積極的に打っていったが無得点に終わると、10回裏に2番大島が送りバントを決め、3番の昌子がレフト前へ落ちるサヨナラ適時打を放ち決着がついた。

